

翻訳者が調べた「ニューラル翻訳の誤訳の実態」

吉川 潔 翻訳業

翻訳とは生活費を稼ぐ手段であり、機械翻訳は、ライバルでなく、サポーターである

- ① はじめに
- ② 連語内（複数の単語が連続する時）の訳抜け、従来方式に比し非常に多い
- ③ 早合点の誤訳（原文の意味を中途半端に早合点して誤訳）
- ④ 舌足らずで誤訳（日本文の説明不足のために誤訳）
- ⑤ 受動態と能動態の区別が不明瞭のために誤訳
- ⑥ ある期間の後に、改善・改悪の例
- ⑦ まとめ

① はじめに

- ◆ 翻訳歴： 新潟で、都内の翻訳会社や特許事務所から原稿をメールで受信し、翻訳後に返信というテレワーク（SOHO）で35年働いてきた。
- ◆ 信条： 翻訳稼業の合間に地域活動； 環境整備のために土地を購入し、道路と公園用に寄付し、地域を紹介する資料をボランティアで翻訳していたら、10年前に紺綬褒章を受章した。  
30数年前に初期のMTを試訳した。以来、市販のMTを試訳し、メーカーを訪ねて説明し、関係者に報告してきた。MT研究が現場から遊離と感ずるので、現場報告として役立ててほしい。
- ◆ AAMTの特許情報シンポジウムにおける、今までの発表の内容
  - 2010年 第一回 MT試訳の説明と実用化のための提案
  - 2012年 第二回 基本的な誤訳例の対策を提案
  - 2014年 第三回 MTを優れた辞書として活用する方法
  - 2016年 第四回 特許明細書の翻訳の注意
  - 2018年 第五回 ニューラル翻訳の試訳結果の説明
- ◆ 2017年 言語処理学会で「防災マニュアルの多国語翻訳」を発表
- 2017年 AAMT総会で、スマホを用いる多国語翻訳通訳を展示実演
- 2019年 AAMT 2019 Tokyoで「NMTの誤訳と翻訳文の合否」を発表

② 訳抜け（従来方式に比べて、ニューラル翻訳で非常に多い）

インターネットから利用できる三つのニューラル翻訳を使用して試訳

②-1 単純な訳抜け： 「普及しているタイプでは、受信範囲は数cmが多い」の英訳

× In the popular type, the reception range is many cm

△ In the popular type, the reception range is a few cm 「多い」が訳抜け

△ In the popular type, the reception range is a few centimeters 「多い」が訳抜け

②-2 連語（複数の単語が連続する）のときに、一つの単語が訳抜けして、誤訳になる

「この特徴は、特に高く評価されている」の英訳

×× This feature is particularly appreciated.

○ This feature is particularly highly evaluated.

②-3 連語 「障害者差別禁止法が施行される」の英訳

○ ○ The Act on the Prohibition of Discrimination

against Persons with Disabilities will come into force.

× The Disability Discrimination Act will be enforced. 障害者差別法が施行される

(注)：「障害者 差別 禁止 法」 四つの単語のなかの「禁止」が訳抜け

このような連語は官庁の文書で多く、その影響で新聞記事にも多いので解消してほしい。

②-4 連語（英文和訳）の訳抜け

「We applied for a license for a test station to a communication department in charge」

○ 担当の通信部門に試験場のライセンスを申請しました。

× 担当部署に試験場の免許を申請しました。 「Communication」が訳抜け

× 私たちは、試験局の免許を申請しました。 「担当の通信部門」が訳抜け

英文を少し変えてみる

We applied for a license for an experimental test station to the General Communication Bureau in charge

× 総合通信局に実験用試験場のライセンスを申請しました。 「in charge」が訳抜け

○ 実験試験場の免許を担当総通信局に申請した。

× 総合通信局の試験試験所の免許を申請しました 「in charge」が訳抜け

③-1 早合点の誤訳（原文の意味を中途半端に誤解）： 「電波が届きにくい」の英訳

○ ○ The radio wave is hard to reach.

× It is difficult to receive the radio wave. 電波を受信することは難しい×

③-2 早合点の誤訳： 「病人のデータが遠方の医師に送られ、診断が行われる」の英訳

×× The patient's data is sent to a distant doctor for diagnosis.

○ The patient's data is sent to a distant doctor and a diagnosis is made.

③-3 早合点の誤訳： 「画質改善よりも処理負荷が重視される」の英訳

×× Processing load is more important than image quality improvement

○ Processing load is emphasized rather than image quality improvement

「～が重要」なので「～を重視する」というふうに、二つは意味が異なる - - -

④-1 舌足らずで誤訳（日本文の説明不足のために誤訳）

「サンプルが、キュリー温度より 20～30℃低い温度 で加熱される」の英訳

××× A sample is heated at a temperature 20-30 °C below the Curie temperature

キュリー温度より低い、20～30℃の温度で加熱される ?

日本文の一部を分かりやすいように変えてみる

「サンプルが、キュリー温度より 20～30℃だけ低い温度 で加熱される」

○ A sample is heated at a temperature below the curie temperature by 20 to 30 °C.

他の二つのNMTは ×と△

④-2 「円盤投げの目標距離が、50mから始まって1mずつ増える」の英訳

××× A target distance of a discus throw is increased by 1m starting from 50m.

1mだけ増える ?

日本文を分かりやすいように変えてみる

「～ ～ ～ 50mから始まって1回につき1mずつ増える」

○○○ A target distance of a discus throw is increased by 1m at a time, starting with 50m.

日本語の「～ずつ」は「1回につき～ずつ」という意味を含んでいるが、

ニューラル翻訳は、そこまで理解できないので、「1mだけ」と勘違いして誤訳する。

上記のように、「～ずつ」という日本語が現れたら、「1回につき～ずつ」という意味で訳すように NMT に仕込む、すなわち、用例翻訳のような発想も必要！

⑤ 日本語の原稿で「受け身」として明確に記してないので誤訳

「それはシリンダー状の被洗浄ツールの内部を掃除するデバイス」の英訳

×× It is a device that sweeps the inside of a cylindrical cleaning tool.

○ It is a device that sweeps the inside of a cylindrical tool to be cleaned.

— — — — —

「ツール」は掃除されるので受け身で訳すが、下記の受け身は×

cylindrical cleaned tool シリンダー状の既に洗浄済みのツール ？

例えば、used car → 中古車 → 既に使用済みのクルマ

⑥ ある期間の後に、改善の例

英文和訳の例： It is reversely easy to make a sample.

2018年12月までの和訳； × サンプルを作るのは逆である

2019年3月頃に、再び試訳したら； ○ サンプルを作るのは逆に簡単である

このように、ある期間後に、誤訳 → 正訳に変わる文例もあれば、

逆に、正訳 → 誤訳に劣化する文例もある

⑦ まとめ：

- 上記の欠陥が多いので、ニューラル翻訳（NMT）に原稿の丸投げの全面依存は無理。しかし、NMTの長所を活用すると、翻訳作業に強力なお助けマンになる。
- 翻訳とは生活費を稼ぐ手段と定義すると、機械翻訳は、ライバルでなく、サポーターである
- NMTを翻訳現場の実務で試訳して発信する翻訳者が少ない。今後も、試訳で気付いたこと、役立つ書籍や資料を関係者に提供するように努める
- MTのさらなる進展のために、ニューラル翻訳の改造、  
旧来の方式、用例翻訳との組み合わせを検討してほしい。